

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	今後益々重要なインフラとなる光網は、電話線のごとき必需品となりえるでしょうから、人口が少ない地域においても基盤整備を早期に進めることは非常に重要と考えます。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	NTTによる寡占的体制は問題であると常々感じております。韓国などは国家的に光網整備に努め、既に到来しているICT社会への態勢を着実に整えつつあります。ひるがえって、日本がこの点で遅れることは、非常にゆゆしきことと思われます。その普及に当たっては、まだまだ月額料金が高すぎる光網整備を、当面はNTTを筆頭としつつも、他の企業も参入した公平な競争体制へと移行させていただきたいと願います。以上です。